



会場の清心ユースセンターの前で（京畿道加平郡）

知美の韓国レポート

ピースクラブ通信

No. 4

発行 社会福祉法人・ピースクラブ
住所 〒556-0014 大阪府浪速区大国二丁目11-1
連絡先 T&FAX 06-6647-2077
Eメール peaceclub@2.dion.ne.jp

初日、眠い目をしながら天下茶屋駅へ向かう（藤岡寺内、高崎は新今宮駅から乗車する）。そして閑空へ。そしたら20人ぐらい、自然治癒学会の会議の参加者がいた。インチョン空港到着。いろいろ検査を終えて、バスへ。長い4時間の旅が始まる。私はバス、弱いんできつかったし、昼抜きはけっこうつらかった。

セミナー会場に着いたのが夕方近くだった。夕食後、交流会があったが抜け出し、会場備え付けのコンピュータの前へ。YAHOOネットにハマってしまうが、日

本日の友だちに送るのに苦労した。
2日目、とうとう食べ物に合わせ、韓国のスタッフの人に頼んで、買い物に行ってもらった。いろいろ買ってきてもらって助かった。
“ありがとう”といったら、それから友だちになった。会議はけっこう難しかった。まとめの時に知美が意見を言った。がんの話ばかりで私にとってのメインの心の病の話がなく、何しに来たんだらう？心の病、精神の話が少なくて、てんかんの話を私が出した。てんかんとは何か。てん

ピーコラ

朝9時になったらモーニングを食べる。キジムナーに降りる。前まで行く。KさんとS君が迎えに来て、とくにKさんは座るところまで指定してくれる。▼ピースの新米だから気遣ってくれるのだが、ときには？と思うことがある。しかしKさんはほんとうにやさしいのだ。▼イライラして周りに当り散らすのは端迷惑だけど、嫌なことでも結局は最後まで面倒をみてくれる。それを見透かされているのがじれったいのだが、それがKさんのこれまでの人生において、ピースで見つけた「居場所」なのだと思う。▼ピースクラブの仲間にはピースにそれぞれ居場所がある。私も新しい居場所を見つけにここに来たのかも……。 (普)

かんは脳の中で台風が起
こるような病気で、一万
人にひとりと言われている
ます。小さい時になる人
もいれば、大人や年いつ
てからなる人もいます。私
が中村先生と出会って、
少しづつ漢方を飲むよう
になりました。初めは抵

抗がありました。飲ん
でみてやっぱり効くなあ
と思つた。がんばらうつだ
けでなく、せっかく中村
先生がいてるから、いざ、
この機会につて、発表し
た。

無事に会議は終わり、
お別れの会。そのときの

高崎さんの阿波踊りがよ
かった。うまい！女踊り
をしてピククリした。
そしてソウルへ移動し、
1日だけ、みんなで寝る。
焼肉やすき焼きを食べて
楽しかった。

最終日、空港へ行く。
そこであかねと知美は化

粧品店へ暴走。1時間後
に終わる。2人は納得す
るが、みなは呆れ顔。飛
行機に離陸時間を忘れる
ぐらいで、ギリギリセー

フ。2時間後、関空に着
く。その後、やっちゃん、
あかねはJR、あとの人
は南海に乗り、帰路へ
報告・脇坂知美

それぞれの宮古、思い思いの旅

▽9月20日△

薬子ちゃん、ゆりえさ
ん、弘子さん、河野の4
人で宮古島にそれぞれ思
い思いに、行きたい所
に行く、楽しい旅の始まり
です。

▽9月21日△

も間近に見ていることが
出来る。本当に楽しいさ
れいな海です。今回はシャ
コガイがいました。一生
をサンゴのあいだで暮ら
すのだそうです。帰りに
はゴルフ場のお風呂へ。

▽9月22日△

どこまでも青空が続く
宮古島、とはいかなかつ
た。うす曇り。みんなで
吉野海岸に。青いサンゴ
の海に色とりどりの魚が
いっぱい泳いでいる。静
かな海で上からでもよく
見えるけれど、シュノー
ケルをつけると何時間で

ゆりえさん、弘子さん、
河野は近くのお店で自転
車を借りてサイクリング、
薬子ちゃんと朝子さんは
ドライブで。来間島まで。
橋の上で気持ちのいい風
に吹かれ、下には透き通つ
た海、キラキラ光る波、
心が洗われるような一日

わたしのみかこは
にごひるこさんと
よこはらさんと
かたり
りと
あさひさんの
の月24日ようび
にきました。

報告・脇坂ゆりえ



でした。
 ▽9月23日△
 ゆりえさんと河野は前日お願いしたダイビングショップの人と、ほか13名で伊良部島にダイビングに行きました。船酔いのゆりえさんでしたが2回もトライ。からだか浮くので錘をいっぱいつけ、そのうえ足を引っ張って何とか海に潜ることが出来ました。下を見ると深い深い海。何と言いませばいいのかすごくきれいな別の世界です。み

んなにも見せてあげたい！
 弘子さんと葉子ちゃん
 は朝子さんと「いやしのビーズ作り」に行きました。それぞれに合ったとてもキレイなプレスレットを作りました。
 ▽9月24日△
 岳の運動会。家族とみんな応援に学校へ。たくさんの人でいっぱいでした。子供達は遊戯に走り頑張っているのがよく伝わってきた。朝子さんが朝早くから作ったお弁当も最高に美味しかったです。

▽9月25日△

宮古島便り

昨年の7月初め、私の父は、フーツ！フーツ！いながら炎天下の中、芋の苗植えをしていた。5年前に



帰路に。早く朝子さんの家を出て沖縄・那覇で2時間ブラブラ。神戸で脇坂の母さんと父さんが迎えてくれてほっと！皆様、お疲れ様でした。

報告・河野越子

3

胃腸で胃を全適してからも昔ながらの農民は病気になる前と同じ様に仕事をしてきた。

作年8月、我慢に我慢をしていた父は、ドロドロの血尿を出して私に助けを求め、ようやく病院へ、「もう駄目かも？」と誰もがそう思った。

入院してしばらくの間は母親と私で父親の牛の世話、病院への行き来をしていた。このままでは共倒れだ!!と父親と相談し7頭の牛を安い値段で全部売ってしまった。

た。自分が亡くなってから入る墓、どんな思いで見たいんだろう？
 リンパ腺から腹空内に広がった癌は腎臓周辺に広がっていた。尿管を圧迫し尿が出ず尿管に管を入れる手術を3回やってようやく容態は落ち着いた。

看護とは何ぞや！患者に関わる者は皆同じ事を学んでいるはずなのに入院するなりナースに病衣をポン！とほられ「これに着替えて下さい。」と言われ私、父母は、目を「・」にしていた。

入院中の父親の落ち込みはひどいもんだった。元気が出たら、と大好きな歌をかけても全く元気が無かった。ひとつの役割が無くなつて、気力は全く無くなつてしまった。そして自分が生きてる内に墓を造ると言われて墓に変わってしまった。今までの自分の生活とかけ離れた物凄い墓が出来上がった。

父親は食事がほとんど摂れなかった。母は、これなら食べるだろう、これだったら、と毎日小さなタッパーに入れ病院に持って行った。食べるのはほんの一口。何日か過ぎてナースに呼ばれ「病院の食事は患者の事を

考えて作っているのか、家から持って来ないで下さい！」と注意。「分かりました」と返事するも、もうすぐ死ぬかも知れない人の為に一口でも食べて欲しいと誰でも思うやろ!?

私達のやってる事は間違いか?

微熱があり、足はパンパンに浮腫んでいる父親、少しでも楽になったらと医者はどうしたらいいか聞くも答えは「んー。しょうがないです。ねえ、様子見ましよう!」。ほんとに唖然とした。

病院で働くこの人達は、自分の恋人、父母、一番身近な人が亡くなるうとして、いる時、痛い!と訴えても様子見ましよう。ですむんだらうか?

末期癌の父親には何もす

る事が無いという。父は医者の前では愛想良く笑いながらも、「薬の名前を覚えたら、誰でも医者になれるね。」とゲームの様に動かすマウスを見て言っていた。

今の病院に患者のメンタル面を見て!との期待は「ゼロ」。患者はナース、

医者に話を聞いて欲しいだけ、それが、薬より何よりの「薬」。

家で寝たきりでも吉郎が大声で騒ぐと、突然起きたり立ち上がったりする。自分が何とかしなくてはという思いがそれでも残ってる。病人のそばに障害者。何だか悪い環境の様に見えるが、吉郎のおかしな行動、赤ちゃん

の動きを見て父親は笑った。すごいよな、吉郎や赤ちゃんが父親を元気にしてる、と改めて感じる。

父親の1年余の闘病生活で多くの事を教えてもらった。

7月25日、午後5時5分に逝ってしまった父親。逝ってしまったと思ってるのに、甥っ子に会いに行ったり、

先日は母親の前に現れたらしい。「新しい家造ったのに、早く家に帰りなさいと言っとけ!」と母親と話してたら、横から伯母が

「あの世に着くには3年かかるんだって!」と、まだ新米の父親は、どうやら皆の様子を見てから出発しようと思ってるらしい。

「オジー!ヤカズマールン ト、ピヤーピヤーヤーンカ イピリヨ」

朝子

【これからのスケジュール】

この前、宇城憲治さん(武道の達人)と同席した。今やあらゆるスポーツ界に弟子を持つ本物のすごい人で、日本の高校野球からカールルイスまで、世界狭しと飛び回っておられる。

その宇城先生が「いまの介護は間違っている。体の使い方が分かれば腰痛なんかにならない。根本は愛。そのワークショップをしよう」と言ってくださった。きびしさ、真剣さ、愛、自然体について学ぶ機会を、近々持ちます。



宮古島の空

大西 洋子

*自然治癒学会(韓国)の旅は9月15日(金)~18日(月)でした。